



## IVR 発信電子メール サブシステム通知の設定

Cisco Unity Express IVR 発信電子メール通知を設定するには、IVR 電子メール設定 CLI コマンドを使用します。

この章では、Cisco Unity Express IVR 発信電子メール通知を設定する方法について説明します。次の各項で、IVR 電子メール パラメータを設定する手順を説明します。

- 「SMTP サーバの設定」(P.35)
- 「電子メールの default-from アドレスの設定」(P.36)

Cisco Unity Express から送信された電子メールは、設定可能な SMTP サーバに転送されます。スクリプトを実行すると、発信電子メール通知ステップで、次の操作を行うことができます。

- 電子メール メッセージの作成
- 発信電子メール メッセージへのファイルの添付
- Cisco Unity Express スクリプトからの電子メール メッセージの送信

## SMTP サーバの設定

認証が必要な場合は、選択した認証方法に応じて、次のいずれかのコマンドを使用して電子メール SMTP サーバを設定します (『[Cisco Unity Express 7.0 Command Reference](#)』を参照)。

SMTP サーバ認証が不要な電子メール SMTP サーバ設定の場合は、次のように入力します。

```
se-10-0-0-0(config)# smtp server address {hostname | ip-address} authentication none
```

ユーザ ID またはパスワードを使用した SMTP サーバの認証が必要な電子メール SMTP サーバ設定の場合は、次のように入力します。

```
se-10-0-0-0(config)# smtp server address {hostname | ip-address} authentication username  
userid password password
```

資格文字列を使用した SMTP サーバの認証が必要な電子メール SMTP サーバ設定の場合は、次のように入力します。

```
se-10-0-0-0(config)# smtp server address {hostname | ip-address} authentication  
credentials credential-string
```

電子メールはドキュメント スクリプトの *EmailMessageSent* ステップを使用して、テンプレート ドキュメントのロード、テンプレート内のテキストの置換、および添付ファイルのロードを行います (『[Cisco Unity Express 7.0 Guide to Writing and Editing Scripts](#)』を参照)。テンプレートは、スクリプト エディタの *CreateFileDocument* ステップで、ドキュメントを作成するためにアクセスされます。ドキュメントはその後、*Text Substitution for Keywords* ステップで、キーワードを動的パラメータで置換するために使用できます。*Create eMail* ステップで、ドキュメントが電子メールの本文に挿入されま

す。Attach to eMail ステップで、ドキュメントが電子メール添付ファイルとして送信されます。最大 5 つの添付ファイルを電子メールに追加できます。Send eMail ステップで、プロパティ フィールドを使用して宛先および送信元アドレスを設定し、電子メールを SMTP サーバに送信して配信します。

Outbound eMail Notification ステップで、電子メール サブシステムを使用して電子メール メッセージを送信します。電子メール サブシステムは、非同期および同期の両方の電子メール送信をサポートします。

# 電子メールの default-from アドレスの設定

電子メール アプリケーションの default-from アドレスを設定するには、default-from e-mail コマンドを使用します。

default-from アドレスは、発信電子メールの From フィールドで受信者に表示されるアドレスで、配信できない場合、電子メールはこのアドレスに返されます。メッセージは Cisco Unity Express サーバおよび電子メール ドメインから送信されますが、これを name@domain.com のように設定できます。default-from アドレスは、選択した電子メール アドレス用にカスタマイズできます。つまり、電子メールをユーザのドメイン上にある特定のアドレスから発信されたようにできます。

電子メール配信物を受信できる有効な電子メール アドレスの文字列を入力します。このアドレスは、配信障害の通知を受信できる必要もあります。

この設定を削除するには、このコマンドの no および default 形式を使用します。

## 概略手順

- 1. config t
- 2. ccn subsystem email
- 3. default-from email-address-string
- 4. default
- 5. end
- 6. exit
- 7. show ccn subsystem email

## 詳細手順

	コマンドまたは操作	目的
ステップ 1	config t  例： se-10-0-0-0# config t	グローバル設定モードを開始します。
ステップ 2	ccn subsystem email  例： se-10-0-0-0(config)# ccn subsystem email se-10-0-0-0(config-email)#	電子メール設定モードを開始します。

	コマンドまたは操作	目的
ステップ 3	<b>default-from</b> <i>email-address-string</i>  例 : se-10-0-0-0(config-email)# default-from customer25@abccompany.com	default-from 電子メール アドレスを指定します。
ステップ 4	<b>default</b>  例 : se-10-0-0-0(config-email)# default default-from customer25@abccompany.com	IVR 電子メール サブシステムの <i>default-from</i> 電子メール アドレスを削除します。
ステップ 5	<b>end</b>  例 : se-10-0-0-0(config-email)# end	電子メール設定モードを保存して終了します。
ステップ 6	<b>exit</b>  例 : se-10-0-0-0(config)# exit	グローバル設定モードを終了します。
ステップ 7	<b>show ccn subsystem email</b> または <b>show ccn subsystem email queue</b>  例 : se-10-0-0-0# show ccn subsystem email または se-10-0-0-0# show ccn subsystem email queue	電子メールの <i>default-from</i> アドレスが表示されるか、または電子メールがキューに入っている場合は、キューに入っている電子メール メッセージのアドレスが表示されます。

## 例

次の例は、**show ccn subsystem email** コマンドの出力結果を示しています。

```
se-10-0-0-0# show ccn subsystem email
```

```
Default From Address : customer25@abccompany.com
```

Cisco Unity Express システムから電子メールを生成する場合、電子メールは同期して送信するか、またはキュー モードで送信することができます。次の例は、電子メールがキュー モードで送信される場合の **show ccn subsystem email queue** コマンドの出力結果を示しています。

```
se-10-0-0-0# show ccn subsystem email queue
```

```
=====
Email ID      Recipient      Subject      Scheduled
              Send Time
=====
1196220172243 max20char@cisco.com subject of Email - max 30 char 2007/05/30 10:52:00
```

## ■ 電子メールの default-from アドレスの設定